



# 炭素繊維応用技術研究会

主催：（公財）科学技術交流財団 共催：あいち産業科学技術総合センター  
協力：愛知工研協会

炭素繊維複合材料(CFRP)は、軽量・高強度といった炭素繊維が持つ基本物性の高さから注目され、各種産業分野での需要が増加しています。現況は、航空機や風力発電、圧力容器などの用途に加え、自動車用途における採用が拡大しており、CFRPの市場は本格的な拡大期に入ったと言えます。

さて、本研究会は今年で10年目を迎えますが、依然として継続開催の要望が強く、今年度も3回にわたり開催する運びとなりました。なお、今回は講演終了後に名刺交換会を実施し、講師の方々と直接お話する機会を設けました。ぜひご参加ください。

## 《第3回》

日時：平成29年11月10日（金）

13:30～16:30

場所：ウインクあいち 1002会議室

（愛知県産業労働センター）

名古屋市中村区名駅4-4-38



（JR・地下鉄・名鉄・近鉄）名古屋駅より

◎JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由 徒歩8分

※応募多数の場合は、締切日前に受付を終了させていただきます。

## 《プログラム》

13:30～13:35 主催者挨拶

13:35～14:35 「複合材料は自動車に何をもたらすのか？」

講師 SGLカーボンジャパン株式会社 コンポジット・繊維材料事業部  
フィールドアプリケーションエンジニア マネジャー 齋藤拓也 氏

自動車業界で注目を浴びている複合材料。CFRPに於いては1981年のF1を皮切りに、スーパーカー、限定生産車に拡がり、2013年登場のBMW社 i3が量産車両で初めて広範囲に採用した。それ以降、特に欧州では様々な採用例が見られる。改めて日本車での複合材料採用の拡大に向け、そもそも複合材料とは何か、どのような利点・欠点があるのか、採用に必要な視点は何か、複合材料の可能性についてお伝えしたい。

14:35～14:45 休憩

14:45～16:05 「熱成形の基礎と熱可塑性CFRPへのアプローチ（仮）」

講師 株式会社浅野研究所 企画開発部 課長 宇佐美秀樹 氏

熱可塑性樹脂の成型方法の一つとして加熱軟化した熱可塑性樹脂シートを真空圧あるいは圧縮空気圧を利用した真空（圧空）成形がある。この真空（圧空）成形方法の基礎と、熱可塑性樹脂を使ったCFRTPの成形の応用について紹介したい。

16:05～16:30 名刺交換会

◆**申込方法** 下記申込書にご記入の上、11月3日(金)までにFAX又はメール(chusyo@astf.or.jp)にてお申込み下さい。  
科学技術交流財団HPからもお申込みいただけます。  
ホームページ：<http://www.astf.or.jp/astf/hukyu/bunya/h29k102.html>

◆**参加費** 全3回 5,000円  
(研究交流クラブ会員・愛知工研協会会員の方は3,000円)

◆**お支払方法** 研究会前日までに、以下の銀行口座にお振込み下さい。  
振込手数料はご負担願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行『愛知県庁出張所』(店番号191)
口座番号：(普通)1031946
口座名義：公益財団法人 <small>コウエキザイダンホウジン カガクギジュツコウリユウザイダン リジチョウ ハマグチミチナリ</small> 科学技術交流財団 理事長 濱口道成

◆**お問い合わせ先** 当財団 業務部 0561-76-8325

第3回 炭素繊維応用技術研究会 参加申込書

FAX 0561-21-1651

(公財)科学技術交流財団 業務部 行 担当:山岸/松田

ふりがな	
会社名	
所在地	〒
ふりがな	
所属・氏名	
連絡先	TEL FAX
	メールアドレス

※ ご記入いただいた個人情報は、当財団からの各種連絡・情報提供のために利用させていただきます。

※ 受講票は発行いたしません。直接会場にお越しください。